

# か み

議会だより

## - CONTENTS -

- **おじろんを指定管理に** 4～5
- 出産一時金を拡充 6
- 住民の声 届くか (10人が一般質問) 9～13
- この人 ここにあり 16



12月定例会  
第16号

おじいちゃん おばあちゃんと  
おいしい お餅つき

(小代区 高齢者生活支援センター「いこいの里」)



# あけましておめでとうございます

“牛の如く、忍耐強く、粘り強く”



香美町議会  
議長 森 利 秋

町民の皆様にはお揃いで平成21年の新春をお迎えになられましたこと、心からお喜び申し上げます。平成17年に3町が合併し「香美町」となりましてから4回目の新春を迎えました。

次第ではありますが、今後とも行財政経費の縮減を進めていく必要があります。議会としても、昨年9月に議員定数等調査特別委員会を設置し、議員定数等があるべきか検討してきました。その結果、本年4月に行なわれる議会議員選挙より、選挙区の廃止、議員定数は4人減の16名と決定した次第であります。

私は議長就任以来、町民の皆様には議会や議員をもっとお使い下さいと申して参りました。昨年、総務、文教民生、産業建設の3常任委員会ともに、各種団体の皆様との意見交換の場を持って頂きま

議長	森 利 秋
副議長	寺 川 秀 志
議員	山 本 賢 一 西 川 誠 一 柴 田 幸 郎 古 岡 菊 雄 浜 上 勇 人 後 垣 晶 一 吉 田 増 夫 西 村 伸 夫 岡 村 公 男 白 岡 安 喜 夫 橘 岩 田 安 喜 夫 長 瀬 秀 夫 西 坂 秀 夫 吉 田 範 明 上 田 幸 明 小 林 利 幸 今 西 美 明 川 端 政 明

(議席順)



総務常任委員会



産業建設常任委員会



文教民生常任委員会

## 議会傍聴に町のマイクロバスが利用できます。

町内の団体等で概ね15人以上で議会傍聴を希望される場合は、マイクロバスが利用できます。

### 利用条件

- ①特定の議員の後援会等は利用できません。
- ②利用日の10日前までに議会事務局に申込みして下さい。
- ③マイクロバスがあいているときのみ利用できます。
- ④利用できる時間は、午前8時30分から午後5時です。
- ⑤詳しいことは、議会事務局にお問い合わせ下さい。

### お問い合わせ先

議会事務局 電話 36-1963(直通)  
もしくは 36-1111(代表)  
内線 441

# 地域の活性化が図れるか!!

## 「おじろん」を指定管理に

町営の小代区温泉保養館「おじろん」は、ここ数年、約2千万円の赤字を出しているため、民間活力を導入し活性化を図るとの観点から、このたび株式会社「ふれあい」（代表取締役 吉田謙三氏）を指定管理者とする議案が提案され賛成多数で可決しました。

### 質疑

#### 会社は大丈夫か

問 1千200株まで発行が可能であるのに、発行済株数300株となっている。3年間の限定ではあるが、体力が維持できるか

答 当面すぐに全額というのは難しく最低の300株でスタートしています。これが限界というのではなく、今後株数を増やすのか、また、多くの人を対象として募集していくかは今後取締役の方で考えていくと思います。また、初年度指定管理料、1千500万円の20

%を目安として株式会社設立要件の最小限のラインで出発しています。

問 取締役4名の経歴はどうか。個人情報に触れない範囲で問う。また、4名の個々の持株数は

答 飲食店、会社、民宿、酒店を経営していて、スキー場を中心として地域の活性化に意欲のある方々の集まりです。なお、発行済株数の個々の持株については把握していません。

問 指定管理料を3年間で1千500万円、1千300万円、1千円を出していく予定だが、今後町としてのかかわり、また、「おじろん」の位置付けは

答 小代地域の拠点施設であるので、リニューアルをして民間のノウハウを活用してもらい円滑な運営ができるようにかかわり、現在の2千万円の赤字を1千万円まで抑えたいと考えています。

#### 指定管理者の概要

1. 商号 株式会社ふれあい
2. 本店 兵庫県美方郡香美町小代区大谷510番地
3. 設立年月日 平成20年10月30日
4. 事業 ①香美町小代区の特産品の販売  
② Grill、レストラン及び喫茶店の経営  
③ 観光用土産品の販売  
④ 温泉浴場施設の経営
5. 取締役 吉田 謙三 他3名
6. 代表取締役 吉田 謙三
7. 発行可能株式総数 1,200株
8. 発行済株式の総数 300株
9. 資本金の額 300万円

#### 計画が甘いのでは

問 各地域に温泉施設がたくさんある中で、入浴料収入が、2年目、3年目と年々増える計画となっているが、収入増が見込めるのか。計画が甘いのではないか。また、増収の根拠は

管理することになりました。過去の反省を踏まえて、小代地域のシンボルとして目的を達成していく努力が必要と考えています。

問 今後の経営内容はどうなるのか

答 営業日は、たくさん入浴客が見込める時は休

問 区民の福祉施策ということで高齢者、障害者

超過になりはしないか

答 3年間の状況をみて1千万円以上の指定管理料を支払うようなことになれば「おじろん」の存続が廃止かを検討しなければならぬと思います。

答 現在の状況や今後のこと等を勘案して検討します。

答 開館当時5万人の入浴客がありました。現在は2万7千人と半減しています。4万人まで増やしていくよう区内、そして町内、更に町外のお客を呼び込むためのPRをしていきます。最初の年が肝心なので、地域振興協議会との連携を図りながら入浴客を増やしていきます。

問 町の直営のときは、どうだったのか。また、今後はどうするのか

答 美方町当時は町のシンボルとして、町が赤字補填していく考えがありました。しかし、赤字が増えるのは困るので指定



新たに設置した露天風呂

#### 管理業務計画書概要

(1) 収入 (単位:千円)					
項目	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
入浴料収入	8,380	7,666	11,500	14,200	15,400
販売売上収入ほか	2,427	2,359	3,150	3,400	3,620
指定管理料	-	3,750	15,000	13,000	10,000
合計	10,807	13,775	29,650	30,600	29,020

  

(2) 支出 (単位:千円)					
項目	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費	9,991	6,511	7,300	7,300	7,300
光熱水費ほか	20,209	19,392	20,650	21,100	20,850
合計	30,200	25,903	27,950	28,400	28,150

  

収支差引	▲19,393	▲12,128	1,700	2,200	870
------	---------	---------	-------	-------	-----



よそおいを新たにオープン



売却予定の病院官舎

# 補正予算

平成20年度12月定例会には、一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計、公立香住病院事業企業会計、上水道事業企業会計が上程され、いずれも原案通り可決しました。

**問** 温泉保養館「おじろん」の費用が指定管理者に移行されることで減額になっているが、移行後の職員の処遇はどうなるのか  
**答** 嘱託職員1名、臨時職員2名いましたが、休

**問** 分娩介助費22万8千円の内容は  
**答** 香美町の人が豊岡病院、日高病院で出産した場合、1万2千円加算されることになりました。出産一時金として35万円支給されますが、出産費用が35万円をオーバーする場合は、1万2千円を上限に支払います。今回の補正予算は12月1日から3月31日までの出産予定の方が19人いますので、満額を支給することを想定して計上しています。

**問** 国庫支出金の総合対策交付金2千517万2千円について説明を  
**答** 地域活性化緊急安心実現総合対策交付金は、総合対策実施計画に計上された事業で、例えば燃油高騰、農林水産業の創出対策など緊急総合対策の交付金です。

**一般会計**  
**質疑**

**問** 相談支援事業の委託料97万3千円は出石精和園に委託するが、どのような事業か  
**答** 障害者に関するいろいろな相談をしていたのですが、相談件数が増えたので増額になりました。

**問** 奥佐津浄化センターのスクリーンユニットのオーバーホール。マンホールポンプのオーバーホールと長井南浄化センターの集中換気装置の中のモデムの交換。ポンプ室の換気ファンの修繕です。  
**問** 濃縮汚泥運搬処理手数の説明を  
**答** 脱水乾燥機に不具合があり現在濃縮汚泥を運んで処理している状況です。

**問** 公立病院特例債4億1千690万円を借りて不良債務を解消すると説明を受けたが、7年間で償還することだが、償還計画は示されないか  
**答** 20年に借りまして7年間で返済します。不良債務を27年にはゼロにします。ただし、その不良債務をなくすための特例債を借りますので資金の不足は続きますが、23年

**問** 固定資産売却益2千万円の試算根拠は  
**答** 概算は建物で400万円くらいで土地が1千600万円ぐらいの相場をはじぎ出しました。予算の上では2千万円になっております。近く最終的な価格を決定して公示したいと思っております。

**下水道事業特別会計**  
**質疑**

**問** 公立病院特例債4億1千690万円を借りて不良債務を解消すると説明を受けたが、7年間で償還することだが、償還計画は示されないか  
**答** 20年に借りまして7年間で返済します。不良債務を27年にはゼロにします。ただし、その不良債務をなくすための特例債を借りますので資金の不足は続きますが、23年

# 条例改正

## 出産育児一時金の拡充



全員賛成で可決しました

**質疑**  
**問** 出産に伴う保険制度が新しくスタートしますが、但馬の中でこの保険制度に参加、不参加の状況は  
**答** 但馬では産科医院はすべて加入すると聞いています。豊岡、日高などです。兵庫県では93・5%の加入率です。どの病院が加入していないのかわかりません。ホームページで調査してみますと加入している病院は分かりますが加入していない病院は分かりません。全国では98・2%です。

**提案理由**  
香美町国民健康保険条例を改正することについて  
出産育児一時金の見直し等に伴い必要があると認められた時は38万円を支給する。

## 村岡区の3中学校の統合も順調に進む

**質疑**  
**問** 二期も終る時期になったが統合に向けての準備は順調に進んでいるか。子ども達の居場所が窮屈ではないのか、また教職員は全員が職員室に入れるのか。通学への対応は、統合中学校の部活動はどうなるのか  
**答** 現在、来年度の教育計画、PTA、部活動、生徒会、服装、通学規定などに関する事を3校の先生方が、それぞれ分かれて協議しています。併せて一般備品と教材備品と図書のを整理をどのようにしていくかを検討しほばできたところです。

賛成多数で可決しました

**提案理由**  
香美町立村岡中学校、香美町立菟塚中学校及び香美町立射添中学校が統合されることに伴い、香美町立小学校及び中学校条例を改正する必要があるが生じた。



新・村岡中学校の校章

# 消防団員

# 1153人

# 実情に合わせて 定数減員

# 1030人

香美町消防団の組織と定数の見直しを図られ、奥佐津分団が一つに統合されます。定員も団員不足により定数減であったが、実団員数に即した定員数に改正されました。なお今年の4月1日より実施されます。

## 質疑

問 消防団員の定員をどう捉えているのか。  
また香住区の減員が特に多いのはなぜか

答 消防の整備指針に基づき、また地域の特事情を加味して定員を決めています。香住区は昭和63年以降見直しをしていないため、今回多く減員

となりました。

問 団員数の減員による出動手当での支給を増額できないか

答 団員の負担が増えますが、今後消防団と相談し対応できることがあれば対応します。



年末警戒で巡視を受ける消防団員

販売低迷する

# 水産加工業者

## 第32回臨時会

# に利子補給 可決

### 趣旨

従来から消費者の魚離れ、外国からの低価格製品の輸入などで水産加工品の販売が落ち込んでおり、さらに原油の高騰による資材の値上がり等により極めて厳しい状況にある。緊急に水産加工業者の経営安定と漁港で水揚げされる魚価の安定を図るため「水産加工業経営安定化資金」の利子補給金支援策を講じる。

### 内容

- ① 県信漁連の創設する「水産加工業経営安定化資金」を借りた場合に利子補給
- ② 町の利子補給は1%以内
- ③ 融資利率は変動金利で、県信漁連も1%支援を行うので、実質1%前後の低利率の融資
- ④ 町の利子補給の対象資金は1億円で、支援額は20年度(41万7千円)は21年度(58万3千円)

平成20年度10月に行われた臨時会において、水産加工業者に対して「水産加工業経営安定化資金」の利子補給金支援として41万7千円の補正予算を可決しました。



# 町政を問う

12月定例会での一般質問は12月2日と3日に10名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



治水対策は大丈夫か



社会教育課の移転により社会教育が充実します

19年12月議会で森谷川香住谷川治水対策の進捗状況を沿線住民に直接接



小林 利明 議員

## 沿線住民に進捗状況を説明せよ 県から十分な説明をしてもらいます

明する旨の約束をされたが、いまだに実施されていないのはなぜか。計画が放置されているのではと住民の不安と不信感がつるばかりだ。計画推進の努力はもとより、せめて沿線の住民には、進捗状況を定期的

に説明して誠意を示すべ

前回から1年が経過していきなすので急ぎ説明しなければと思つています。ご指摘の影響と関心の大きい地域の皆さんには今月か年明けに土木事務所担当者から、計画が遅れている経過を含めて進捗状況の説明を十分してもらおうよう取り組みたいと思つています。



寺川 秀志 議員

## 教育委員会の事務所移転は「いつか」 22年に移転する方向で検討します

村岡地域局にある教育委員会を本庁舎へ移転することについては、3月定例会での答弁で、21年度以降の課題として検討したいとのことであった。内容は、現在地では意

思疎通、意思決定等に時間的な支障が生じるので、本庁舎へ移転を考えると答弁された。現在も社会教育、文化活動等で不都合があり、便利が悪いと不平を聞いている。移転は21年度か22年度なのか答弁をいただきたい

政策課題でありますので、担当者や責任者が出来るだけ近くにいる方が、円滑に事業が行われます。今後、香住小学校の耐震化に取り組みたいので、その過程で教育委員会と町長部局との考え方の調整がいりますので、社会教育を含め文化活動等、円滑な推進が図れるよう、22年には本庁舎へ移管する方向で、さらに詳しく検討します。



子育て環境の充実を

保育所等あり方委員会の審議内容をどのように受け止めているのか何う  
 ①21年度への施策反映  
 ②保育料見直し  
 ③小代区へき地保育所統合問題の今後の進め方は。



吉田 範明 議員

## 幼稚園・保育所、今後どうする まず、十分な議論と理解が必要です

また、子育て環境充実に向け行政の窓口を一本化し、福祉部、教育委員会、地域局の連携を保つ必要があると思うが

**町長** 少子化が進む中、幼児教育の重要性は高まっています。合併前からの運営を一度総点検し、現実的な提案をしていただくのが委員会設置の狙いです。①部分的に実施しても支障のないものは、実施したいです。②色々な要素が複合的に絡み合っていますので十分な検討が必要と考えています。③小代区において委員会を設置し、十分な検討をお願いしたいと思います。極力、健康福祉部に集約したいと考えています。地域の問題は、地域局が責任を持って本庁各部署と連携をとる形をとっていますし、今後も堅持していきたいと思えます。



早期健全化へ



岡田 公男 議員

新しい町として第一期終りの時期となりました。山と海の地域間の均衡が

## 第二期町政への意思は 諸課題に没頭しています

とれた振興策、一体感の醸成、行財政改革を進め町民へ負担を求めた。地方自治体財政健全化法に基づき早期健全化団体となつている。このような財政状況から町民が安心して定着できる魅力あるまちづくりへ今後どのように導いていこうと考

ているのか。第二期町政に町民の先頭に立って汗をかいていかれるのか、今の考え意見を伺う

**町長** 早期に実質公債費比率18%の目標への努力、公共事業12億円の範囲内で優先度の高い緊急性ある事業を計画的に行

なう、行財政改革を進め町民負担の必要なものは部分的見直し、仕事の仕方を見直し職員を減らす努力、基金7億円の堅持、過疎、少子高齢化対応、ふるさと教育、観光を中心とした産業対策が必要です。諸課題に没頭しており次なる対応に決断していませんが町政の方向、考え方は持つております。



早く完成を



浜上 勇人 議員

平成22年秋に余部新橋が完成し供用予定である。念願であった列車の定時

## 余部新橋完成後のJRへの対応は！ 観光協会と一体となって努力します

制確保にも目途がついたと考える。代議士からも新橋供用に向けて特急「はまかせ」の新型車両の導入の話も聞いている。

また、香住観光協会からは、岡山方面からの直通列車の運行を強く要望されている。余部新橋完成後のJRへの対応につ

いて町長の所見を伺いたい

**町長** 余部新橋は但馬全体で長年にわたり強く要望して完成が間近になつていくような状況です。これに合わせて但馬の市町で構成する但馬自治会でもJRや関係機関に対

して鉄道輸送の強化、利便性の強化についての要望を続けています。「はまかせ」の新車両については正式な発表ではありませんが、実現は間違いないだろうと考えています。岡山方面からの列車の乗り入れについては観光協会とも一体となって努力したいと考えています。



元気で長生きしたいもの



山本 賢司 議員

後期高齢者医療制度がスタート時点から見直されるという中で実施されている。この制度では、一年間保険料を滞納すると保険証を取り上げるとされている。以前の老人

## 高齢者の保険証取り上げるな 国保と同様、弾力的に対応します

保健制度では禁止されていたものである。

この制度では、保険料を免除される人はいない中で、保険証のないお年寄りを生むのはいけないこと。町長として、この町では『保険証のない人はいない』とすべきだ

**町長** 一年経過で、滞納者に対する資格証明書に切りかえる時期が来ます。国保の場合と同様に、

画一的に一年たつたから資格証明書ではなく、滞納事情などを十分聞いて短期（保険）証交付としてその後の状況等も聞きながら対応する方向でいきたいと考えています。今後、県広域連合からも短期証・資格証明書などの運用指針も出ることにありますが、弾力的な対応ができるよう基本的に考えます。





豊岡に行かなくていい病院になって欲しい！



さらなる交流に期待する

## 豊岡病院利用による負担増は町で！ 経過を見て、必要な対応は考えます



川端 政明 議員

豊岡病院の使用料及び  
手数料条例が改正され12  
月1日から施行されてい

る。組合員外利用は、以前は室料差額のみ2割加算であったが、今回の改正で新たに時間外診察料、非紹介患者初診加算料、分娩料も加算の対象になり、時間内分娩料は定額1万2千円。他は3割加算となった。これにより利用する町民の負担増は

避けられない。

分婉介助料として、今回の補正予算で挙げているが、他の3つの料金についても町で負担できないか

町長 分婉料については、少子化対策という観点からすぐに対応させて

いただくことにしました。他については、今後の運営の推移を見て、多くの人たちに割り増し料金による影響が出てくるようであれば、今の香住病院体制に起因する問題点ですので、必要な対応は考えていかなければと思っています。少し様子を見てから判断します。

## フレンドシップ協定を活かせ!! 住民間交流を更に進めます



西村 伸一 議員

締結までの経過についてどのような関係で吹田市を選ばれたのか、どのような交流の場を持つのか、予想される交流を示して説明を伺う。  
吹田市のような大都市

と自然の多い空気・水のきれいな香美町との交流を期待するものですが香美町にどのようなことを吹田市が期待されているのか、どのようなことを町民に呼びかけていくのか町としての考えを問う

町長 吹田市とフレンドシップ協定の締結に至ったことは町内のある方が吹田市のある方と親しい関係で合併後出会い、

そこに市長も一緒だった中で進みました。単に町がフレンドシップ協定を結んだというだけでは、本当の住民間交流を進めることはできません。改めて交流を一層進めて行くことについての周知徹底を図り理解をして頂くような環境づくりや種々の団体にもお知らせするような活動を展開します。

# 障害者の自立は地域との連携で

## 文教民生常任委員会

委員長 西 坂 秀 美

視察先

京都府舞鶴市

社会福祉法人 まいづる福祉会

滋賀県湖南市

社会福祉法人 オープンスペースれがーと

### 京都府舞鶴市

#### ほのほの屋

平成14年に精神障害のある仲間の授産施設としてオープンしました。ま

#### 一流を目指そう

レストランを経営するなら義理で来てくれるようなものでなく、一流を目指そうと研修を重ねる。一流ホテルの総料理長を

#### 何もしないうちに自立していく

開店当時、連日連夜大盛況が続く、誰も障害者を助けてあげられない、誰も教えてあげられない状況が続く中で障害者の皆さんは自分たちで考えるようになり、今では障



支配人から説明を受ける委員（ほのほの屋にて）

害者たちが予約状況を見て、シフトをどう組んでどう配置していけばよいか、考えるまでに成長しているそうです。

させられていた仕事から、自ら考え働く仕事となり、「生まれて初めて仕事に誇りを持てるようになった」と「人生で一番楽しい」と障害者たちは言う。月収15万円を超す人もおり、障害者が所得

を得る事により自立に目覚め大きく成長していく。職員の皆さんの努力も目を見張るものがありました。障害者の労働分担、労働の継続等多くの問題も感じましたが、地域との連携も素晴らしかった。「誰もが当たり前のように生きる環境づくりを」そして障害者の自立を目指し全町挙げての取り組みが必要である。

文教民生常任委員会では「本町における障害者自立支援法の現況と課題」についての調査と研究に取り組んでいます。

そこで当委員会では障害者及び障害者施設の実態を研究、把握し、町政に反映させる観点から先進地を視察しました。

## 滋賀県湖南市

### オープンスペース 「れがーと」

### 多機能型主事業所

所介護事業を展開して  
います。

平成8年「地域で暮らす障害のある人とその家族に必要なとき必要なサービス」をキャッチフレーズに開設された知的障害者生活支援センターです。使い勝手のいいサービスを地域につくるためホームヘルプサービス、知的障害者デイサービス、ナイトケア事業等を開始しました。障害の重い人も安心して通える場づくり、高齢者を含む地域の拠点として重症心身障害の方、認知症を含む通



障害者支援施設バンバン

障害者支援施設バンバンは就労移行支援・就労継続支援A型・生活介護の方々が職業訓練の場として通所、働く場の提供と企業就労への技能、習慣の確立を目指して運営しています。

和紙工房、パン工房、クッキー工房、受託事業、レストラン事業等に取り組んでいます。とくにレストランは昼は手作りカレーのバイキング、夜は黒豚しゃぶしゃぶの店でウエイター・ウエイトレ

スとして雇用の場へ、障害児・育児期の母親の集い研修等にも使われ、地域交流スペースとなっていた。使いやすさと多様に富んだ施設でした。

### まとめ

- 二つの施設とも一人でも多くの障害者の自立に向けて、職員の並々ならぬ努力と熱意を感じた。
- 地域の連携、職員の努力があつてこそ障害者が自立できることを知った。本町も町民あげて障害者自立に向け努力をしよう。
- 自立支援、就労支援ばかりを優先するだけではなく、居場所としての作業所の支援も大切だ。
- 両法人とも共通して優れた指導者の下で「摂理」と「歴史」を踏まえた「仕事の理念」が職場に浸透していた。
- 障害者が、親亡き後、住める家を、地域の中で安全で安心して暮らせる家（社会）の実現を目指すことが私たちに課せられた課題である。

## かみ議会だより13号

# 特別・兵庫ジャーナル賞 受賞

第29回兵庫県町議会広報紙コンクールで、かみ議会だより13号が、特別・兵庫ジャーナル賞に輝きました。これ、ひとえに広報委員の日頃の精進・研鑽の賜物であると共に香美町議会の広報に対する意欲・伝統でもあり、同時に町民皆さまにご協力、ご支援を頂いた成果が賞に結びついたと自負



賞を受ける長瀬委員長

するところです。さらに表彰式後の広報紙クリニックでは、かみ議会だより14号が、エディターの城市創先生よりさらなる評価を受けたことをお伝えします。町民の皆さん、議会だよりのご愛読、今後ともよろしくお願いいたします。

# この人にあり

(小代区)



太田 垣 修氏

今回は、小代区で伝統と実績のあるスキーを通じ、子ども達の健全育成に努めてこられた「おじろジュニアスキークラブ」初代会長太田垣修さんにお話を伺いました。

## 活動内容は

スキーシーズンの12月〜3月が活動期間です。アルペン部門とノルディック部門とがあり、アルペン部門では週一回の昼と夜の練習。ノルディック部門は週一回の昼練習があります。但馬での大会をはじめ、遠くは鳥取県大山での大会に出場しています。

## 多くの成績優秀者を輩出していますが、秘訣は

監督・コーチをはじめ保護者・学校・地域が一体となって、子ども達の心・技・体、意欲の向上と醸成に努めていることです。また、コーチに多くのOBがいて実践と経験に基づいた指導をしていただけることです。そして、何よりもスキー場関係者の協力で練習場の整備をしていただけのことだろうと思います。

## 当時から監督・コーチ全員ボランティアだそうですが

はい、その通りです。大変感謝しております。小代区の伝統があり、特色があるスポーツとして次世代に継承していく使命を感じ、当時から快く引き受けていただいたと思っています。

## やってきて

### 良かったことは

子ども達が自信を深め、成長していく姿が見られたことです。

また、卒業した部員が地元に戻り後輩の指導に



各種大会に出場し好成績をおさめるクラブ員

## おじろジュニアスキークラブの歩み

約30年前に誕生した「おじろスキークラブ」のジュニア部門として発足しました。平成10年には専門的に子ども達を育成するため独立し、名前も「おじろジュニアスキークラブ」とし、現在の体制となりました。

子ども達のスキー技術向上と心身両面の健全育成を目的として、小学一年生から中学三年生までを対象に、保護者・OBを中心に全員ボランティアで指導にあたっています。

現在のクラブ員は、小学生30名、中学生18名で、数々の大会で多くの優勝者を輩出し、県を代表して全国大会にも出場する選手がいるなど、トップクラスの成績をおさめています。

あたるなど、地域活性化のために良い環境ができたことです。

## クラブが苦労していること、思うことは

少子化の影響や保護者の価値観の変化により、部員の数が年々減少していることだろうと思えます。是非、地域の特色であるスキーを今後も守り育てていって欲しいものです。

## 今後、クラブに期待するところは

スキーを通じ人間形成し、社会に貢献できる人材の育成と地域活性化の一翼をこれからも担って欲しいと思います。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もご愛読の程よろしく願います。▽「米国がクシャミをすれば日本は風邪をひく」といわれます。昨年は、それを象徴するかのようにはサブプライムローン問題に端を発し「円高・株安」「派遣社員切り」「内定取り消し」など暗い幕切れとなりました。今年は、良い年でありますよう心から念じます。

▽今年、丑年。牛といえば、当町では世界に冠たる「但馬牛」があります。丑年にちなんで更に売り出す工夫をしたいものです。(Y)

### 編集発行責任者

議長 森 利秋

### 議会広報特別委員会

委員長 長瀬 幸夫  
副委員長 上田 勝幸  
委員 西川 誠一  
寺川 秀志  
古岡 菊雄  
西村 伸一  
吉田 範明